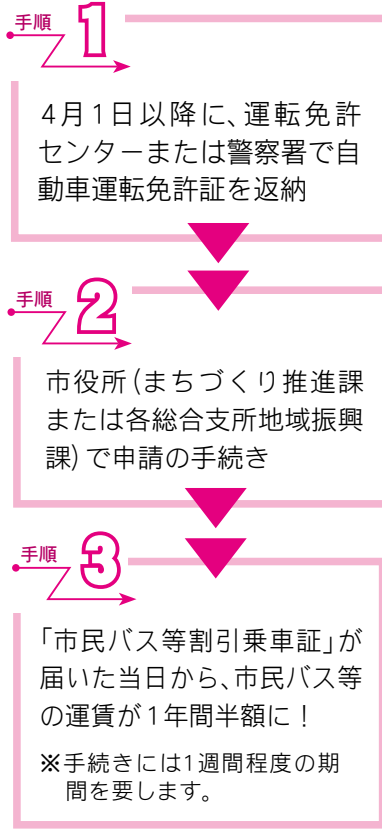




平成31年4月運用開始!

**運転免許証の自主返納で1年間!**  
**市民バス等の運賃が半額になります!**

●まちづくり推進課公共交通担当 ☎23-5069



近年、加齢などにより、「安全な運転に不安がある」などの理由から、自主的に運転免許証を返納する人が増えていきます。県内の65歳以上の運転免許証自主返納(申請取消)件数は、4856件で、前年と比べ1255件増加しています。(平成29年12月末現在・宮城県警資料)

全国では、自動車による道路の逆走や、アクセルとブレーキの踏み間違えが原因の事故など、特に高齢者による誤った運転操作が多く報道されています。「うつかりしていた」「自分は大丈夫だと思った」などの理由で、重大な事故につながった事例を、あなたも目にしたことはありませんか。今後、高齢化の進展により、高齢運転者による交通事故の増加が懸念されます。このような状況から、市では、高齢者の事故を防止し、運転免許証自主返納者の「生活の足」を確保するため、公共交通の利用に対する支援を行います。平成31年4月以降、運転免許証を自主返納した人を対象に、市民バス等の運賃割引が1年間受けられる「大崎市市民バス等割引乗車証」を交付し、安全で安心な生活を支援していきます。

視野が狭くなる、記憶力や判断力が低下する、反射神経が鈍くなるなど、加齢とともに体は変化します。少しでも運転に不安がある場合、本人や家族、友人同士などで、運転や免許について考えてみませんか。

**対象の市民バス等の路線**

- 市民バス**  
清滝線、鳴子線、大貫線、高倉線、三本木大衡線、宮沢真山線、松山鹿島台線  
※古川線は該当になりません。
- 中心市街地循環便**  
南側循環便右回り・左回り、北側循環便右回り・左回り、シャトル便
- 市営バス**  
鬼首線

※大崎市が運営する市民バス等のほか、色麻線(運営:株ミヤコーバス)、地域住民が運営する地域内交通(松山・鹿島台・岩山・田尻地域、鳴子温泉鬼首地区の乗り合いタクシーなど)についても運賃割引が受けられます。

- 対象者** 以下のすべてを満たす人
- 申請時、市内に住民登録している人
  - 平成31年4月1日以降に**運転免許証の全部を自主返納した人**
- 割引** 乗車ごとの運賃を半額に割引  
(定期券、回数券などには適用されません)
- 期間** 「大崎市市民バス等割引乗車証」の交付決定日の翌月から起算して**1年後の月末まで**  
 ※交付は一人1回限りです。(有効期限内の再交付を除く)

- 申請に必要なもの**
- 「運転免許証を取り消した旨の通知書(運転免許取消通知書)」か「運転経歴証明書」の写し
  - 申請者の印鑑
- ※本人が来庁出来ない場合、家族や親族でも代理申請ができます。お問い合わせください。

**飛躍の新時代へ**

**幕開けを祝う**

- ◆第10回 宝の都(ぐ)に
- ◆活性化貢献賞贈呈式
- ◆新春講演会
- ◆新春祝賀会



▲新春を寿ぎ鏡割り  
写真左から、佐野宮城県副知事、榊一ノ蔵 松本会長、小野寺衆議院議員、伊藤大崎市長、女子プロボクサー藤岡選手、佐藤市議会議長



◀オープニングを飾った鹿島台太鼓「鹿翔会」



▶まちづくりへの希望を話す古川第二小学校の代表児童(写真右)と敷玉小学校の代表児童(写真左)



▲大崎への期待をお話いただいた佐野副知事  
 ◀活性化貢献賞を受賞された皆さん

受賞団体・グループ	活動概要
緒絶川荒川清流化促進協議会	50年の長きにわたって、緒絶川の清掃や鯉の放流事業を実施し、環境美化と、憩いの場として魅力ある景観形成に貢献。
高倉地区振興協議会	特色を活かした地域づくりを推進するため、自発的な企画・立案で事業を実施。地域の意見を取りまとめた活動を実践。
農産物直売所「旬の店・シンフォニー」運営会	物産などを直売所や各種イベントで販売。六次産業化の推進や農と食のネットワークづくりに寄与。設立当初から女性農業者で構成され、女性の経営参画と所得向上に貢献。
西大崎生ごみリサイクル研究会「とまとクラブ」	環境にやさしい地域づくり事業として、地域に楽しい「賑わいの場」や「地域づくり参画」の場を提供。20年を超える活動が高齢者の生きがいづくりなどにつながっている。
エンジン EnGene. 小出一之	EnGene. が歌を担当し、小出氏が総合プロデュースを行ったDA PUMP「U.S.A.」の替え歌「湯ですぜ!」で、市の観光地や世界農業遺産「大崎耕土」を発信し、市の知名度向上に寄与。

1月4日、宝の都(ぐ)に・活性化貢献賞贈呈式、新春講演会、新年祝賀会が開催されました。第11回となった宝の都(ぐ)に・活性化貢献賞では、市の魅力の創造・発信や、地域活動を促進するために先導的な役割を果たした4団体、1グループが選出され、伊藤市長から功績を顕彰するトロフィーが贈られました。また、昨年11月に行われた「お

おさき子どもサミット」に参加した古川第二小学校と敷玉小学校の児童の代表が、大崎のまちづくりへの提言を発表しました。

「おいしい米や豊かな自然を発信するキャラクター「お米大王」の披露や、市内の歴史的施設を巡って大崎耕土への知識を深める「おさきヒストリー・ロード」の創設など、創意工夫を凝らしたアイデアを紹介し、すばら

しい発表となりました。新春講演会では、田尻地域出身で宮城県副知事の佐野好昭氏をお招きし、「東日本大震災からの復興と地方創生に向けて」と題した講話をいただきました。新年祝賀会には、おさき宝大使の皆さんをはじめ、市内外から約500人も皆さんが参加し、新しい元号の時代へ懸ける夢や抱負を語り合いました。